

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	建築学基礎演習 I	担当教員	建築学科教員	
学年学科	3年 建築学科	通年	必修	2単位
学習・教育目標	(D-2) 90% E10%			
授業の目標と期待される効果： 建築学に対する留学生の理解を深める効果をもつ。建築の3つの分野である、構造・環境・計画（設計製図を含む）の授業内容に関する補助教材を用意し、説明とその演習により学修の深度を深める。 ① 計画・設計分野の理解が深まる ② 構造分野の理解が深まる ③ 環境分野の理解が深まる		成績評価の方法： 課題・演習等の成果で評価する。 達成度評価の基準： 下記における課題・演習等に対する成果の完成度が6割以上であること。 ① 計画・設計分野の理解が深まったか ② 構造分野の理解が深まったか ③ 環境分野の理解が深まったか		
授業の進め方とアドバイス： 同級生と一緒に受講している講義と平行してこの科目の講義/演習は進めていくので、担当教員の指示を受け、計画的に進めること。				
教科書および参考書： 特に教科書はなく、補助教材・適宜プリント等の資料を使用する。				
授業の概要と予定：前期				AL のレベル
第 1 回：授業進め方の説明/設計製図に関する演習－1				
第 2 回：インテリア設計に関する演習－1				
第 3 回：設計製図に関する演習－2				
第 4 回：環境工学に関する演習－1				C
第 5 回：建築計画に関する演習－1				
第 6 回：設計製図に関する演習－3				C
第 7 回：建築計画・デジタルデザインに関する演習－3				
第 8 回：設計製図に関する演習－4				C
第 9 回：構造力学に関する演習－1				
第 10 回：構造力学に関する演習－2				
第 11 回：構造力学に関する演習－3				
第 12 回：インテリア設計に関する演習－2				
第 13 回：環境工学に関する演習－1				
第 14 回：環境工学に関する演習－2				
第 15 回：設計製図に関する演習－5				

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第16回：建築史に関する演習－1)	
第17回：情報処理に関する演習－1	
第18回：情報処理に関する演習－2	C
第19回：設計製図に関する演習－1	
第20回：構造力学に関する演習－1	
第21回：構造力学に関する演習－2	
第22回：建築史に関する演習－2	
第23回：建築計画・設計製図に関する演習－1	
第24回：情報処理に関する演習－3	
第25回：木質構造に関する演習－1	
第26回：木質構造に関する演習－2	C
第27回：設計製図・建築史に関する演習	
第28回：構造力学に関する演習－3	
第29回：構造力学に関する演習－4	
第30回：建築計画・設計製図に関する演習－2	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	計画・設計分野の課題・演習等に対する成果の完成度が8割以上である。	計画・設計分野の課題・演習等に対する成果の完成度が6割以上である。	計画・設計分野の課題・演習等に対する成果の完成度が6割未満である。
②	構造分野の課題・演習等に対する成果の完成度が8割以上である。	構造分野の課題・演習等に対する成果の完成度が6割以上である。	構造分野の課題・演習等に対する成果の完成度が6割未満である。
③	環境分野の課題・演習等に対する成果の完成度が8割以上である。	環境分野の課題・演習等に対する成果の完成度が6割以上である。	環境分野の課題・演習等に対する成果の完成度が6割未満である。